

笑顔と

神奈川県立金沢支援学校

やさしい心



学校だより



学校ホームページ

第 215 号 令和7年9月

7月24日から始まった39日間の夏休みが終わり、2学期がスタートしました。この夏は全国各地で記録的な猛暑が続きました。皆さんも暑さ対策に苦労されたと思いますが、体調を崩さず元気に過ごすことができたでしょうか。

さて、9月1日に2学期の始業式を行いました。校長の話で、児童生徒の皆さんに、改めて頑張してほしいことを2つお話ししました。1つ目は「これは難しそうだな」「できるかな」と思うことでもあきらめないで挑戦し、全部できなくてもその中に少しでもできたことがあれば、そのできたところを大切にしてほしいということ、2つ目は、あいさつと同じように、「ありがとう」という言葉を大切に、言った人も言われた人も温かく幸せな気持ちになり、友達や先生方ともっともっと仲よくなってほしいということです。

9月からは少しずつ暑さが和らぐという予報は出ていますが、まだまだ暑さ対策は必要ですので、引き続き体調管理に気をつけて、明るく元気に新学期をスタートすることができるようにしていきましょう。

「防災共生」の取組を進めていきます

7月30日にカムチャッカ半島付近での巨大地震により、神奈川県内にも津波警報が発令されました。改めて防災意識を高める必要性を認識したところですが、防災対策を確実に進めていくためには、自助・共助・公助の観点から総合的に準備を進めることが重要になります。本校でも児童生徒の防災教育や避難訓練を繰り返し行っていますが、総合的な対策を進めるためには、地域の皆さんとつながりながら備える、備えながらつながる「防災・共生」の取組が大切と考えています。

県立学校では、学校運営に地域の皆さんの声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めるために学校運営協議会を設置しています。本校の学校運営協議会には、企業関係者、福祉施設関係者、学校(小・中・高・大)関係者、自治会関係者、本校PTA会長に委員をお願いしています。地域の皆さんのご支援をいただきながら、「防災・共生」の取組を推進していくために、今年度から「学校防災部会」を設置しました。6月11日に開催した第1回会議の協議を踏まえ、海洋電子工業株式会社様からスクールバスに常備する防災物品をご寄付(8月29日贈呈式)いただきました。



また、9月20日(土)には、金沢支援学校を会場として「自助を促進させることを目的とした防災訓練(リハーサル)」を開催します。訓練内容として、食べ物体験、応急処置・救護活動、防災避難体験、防災情報の収集・伝達、防災・便利グッズ紹介、ステージプログラム、特別企画・体験等を予定していますので、保護者や地域の皆様に、ぜひご参加いただきたく存じます。

県立津久井やまゆり園の事件を忘れずに

この7月26日で、県立津久井やまゆり園で19人が死亡し27人が負傷するという、大変痛ましい事件があつてから9年になりました。このような事件が二度と起こらないよう、すべての人のいのちを大切に、その人らしく生活し、偏見や差別をしない、共に生きる社会を作っていくことが大切です。そのことを1学期の終業式で、児童生徒の皆さんに改めてお話ししました。

金沢支援学校でも、共生社会の実現に向け、その一翼を担っていくことができるよう、学校や児童生徒の皆さんのことを地域の皆さんに伝えながら「ともに生きる社会かながわ憲章」の周知活動を進めていきたいと考えています。

(校長)



B部門高等部紹介



本校

4月に35名の1年生を迎え、2年生31名、3年生28名、総勢94名で今年度の高Bが始まりました。

今年度は、4月に学部集会として1年生と2、3年生との「対面式」を行いました。先輩からの1年生への歓迎の言葉のあとに1～3年生が数人ずつ合同のグループに分かれて行ったクイズ大会が非常に盛り上がりました。クイズではどちらが正解かグループごとに教員と一緒にみんなで相談したり、正解を当てると生徒同士で喜んだりするなど、各グループの生徒たちが学年を越えて交流する姿が印象的でした。

また、2、3年生は1学期に校内実習や現場実習を行い、それぞれの生徒が自分の力を発揮して実習に取り組みました。1年生は校内実習の先輩たちの様子を見学し、10月の自分たちの校内実習に向けてイメージを膨らませるなど、学びのある時間になったことと思います。

今年度も生徒一人ひとりの自立と社会参加に向けて、保護者等の皆様と一緒に協力しながら子どもたちの成長を支援していければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(高B学部長 小原 俊祐)

分教室

昨年度と同じく、1年生15名、2年生15名、3年生15名、総勢45名でスタートしました。職業の授業では、昨年度に引き続き「手工芸班」「環境整備班」「事務サービス班」の3つの作業班に分かれ、3学年縦割りで行っています。異学年との交流を通して、3年生が後輩の手本として頑張る姿や、1年生が先輩の言葉遣いや動きを学ぶ姿など、よい関わりが多く見られます。

5月には横浜氷取沢高校の体育祭に参加し、大縄跳びに挑戦しました。練習の成果を発揮しようと、緊張しながらも元気いっぱいに取り組む姿が見られました。また、特例子会社や就労移行支援事業所の方々を講師としてお招きし、出前授業を実施しました。仕事内容や働く上で大切なことを学び、保護者の皆様にも参観していただくことで、進路について考えるよい機会となりました。

横浜氷取沢高校との合同行事や日々の学習活動を通して、一人ひとりが経験を積み重ね、自立と社会参加に向けて成長していけるよう支援していきたいと思っています。

(横浜氷取沢分教室長 遠藤 聡)